

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 倉本 豊 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成30年10月4日（木）
場 所	嘉島町民会館
目 的	平成30年度熊本県町村議会議員研修
報 告 の 内 容	<p>講師：株式会社いろどり 代表取締役社長 横石 知二 氏 演題：地方創生とまちづくり～地域経済の好循環をつくる～ 出席：県内町村議会議員および事務局員など約400人</p> <p>1. 研修内容 主な講演内容は以下のとおり。</p> <p>(1) 40年前の上勝町</p> <p>(2) 葉っぱの販売（彩ビジネス）</p> <p>(3) 高齢者が使える情報システムの開発</p> <p>(4) 成功の秘訣「松竹梅戦略」</p> <p>(5) 彩からの提言</p> <p>(6) 現在の上勝町</p>

2. 所感（※議会・議員として、どう関わるか）

本研修で共感した事項について、議会活動や町づくりの視点として活かしていく。

(1) これまで執行部に提案してきた視点

- ・本町には、地域プロデューサー（オーケストラでいう「指揮者」）がない。まちづくりの共通点は『キーマンになる人』。
- ・地方は人材不足。一人当たりの生産性をいかに向上するか。ICT利活用は必須。
- ・今の時代に応じた行動。
- ・地域資源の活用。地域にある魅力を「発見・磨く・発信」することで、地域経済の血液となるお金を動かし、「ヒト・モノ・カネ」の好循環をつくる。
- ・やったことが自分に返るような出口戦略。

(2) 新たな視点

- ・あきらめず、やってみる。新たな挑戦。地方創生はまだまだやれる。
- ・人づくり。出番・評価・自信を磨き、人間力を向上する。『自分ごと』は、特に耳を傾け、特に行動する。舞台づくりが9割、事業が1割。[居場所・出番・役割づくり]
- ・高齢者が元気であれば、町も人も元気になる。[産業福祉]
- ・理論だけでは現場は動かない。現場の意見を活かす。特に、移住者と若者と先住民の考え方の違いを踏まえた共存・共栄。
- ・田舎の弱み（愚痴や批判、マイナス思考、固定観念などの古い習慣）を強みに変える施策。
- ・人も地域もワクワクする光輝くものをつくる。[松竹梅戦略]
- ・継続的に活用できないパンフレットの無駄。お金をかけてゴミを配る。

3. 参考となる講師の経歴

- ・1979年、20歳で上勝農協の営農指導員として採用。81年以降、16年連続して農産物の売り上げを伸ばす。
- ・86年秋、「がんこ寿司」でヒントを得て、彩を開発。
- ・96年4月、上勝町役場に転籍。特産品の企画販売を行う。また、高齢者が使える情報ネットワークシステムを開発。
- ・99年4月、第三セクター株式会社いろどりを設立。
- ・02年4月、役場を退職し、株式会社いろどりに取締役就任。
- ・05年5月、代表取締役副社長就任。09年5月、代表取締役社長就任。